

平成23年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	山口県		市町村類型	II-2		指定団体等の指定状況		区分	平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分	平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)				
						財政健全化等	×										
市町村名	光市		地方交付税種地	1-3		歳入総額	×	歳入歳出差引	23,243,216	22,181,711	実質収支比率	9.3	5.7				
						歳出総額	×		21,981,764	21,395,602	経常収支比率	94.0	91.9				
						財源超過	×		1,261,452	786,109	(※1)	(105.1)	(109.1)				
						首都	×		80,608	43,116	標準財政規模	12,760,318	13,109,333				
人口	22年国調(人)		53,004		産業構造(※5)	中部	×	実質収支	1,180,844	742,993	財政力指数	0.72	0.82				
	17年国調(人)		53,971			過疎	×	単年度収支	437,851	230,785	公債費負担比率	11.2	12.4				
	増減率(%)		-1.8			山振	×	積立金	835,086	754,672	健全化判断比率						
	区分		22年国調			17年国調		低開発	×	線上償還金	5	41	実質赤字比率	-	-		
住民基本台帳人口	24.03.31(人)		53,615		第1次	776		1,159		指数表選定	○	積立金取崩し額	715,000	100,000	連結実質赤字比率	-	-
	23.03.31(人)		53,960			3.4		4.7			実質単年度収支	557,942	885,498	実質公債費比率	13.3	14.6	
	増減率(%)		-0.6			8,047		8,781			基準財政収入額	6,015,654	6,280,935	将来負担比率	74.3	79.9	
	面積(km ²)		91.94			35.1		35.4			基準財政需要額	8,934,016	8,975,119	資金不足比率(※4)			
人口密度(人/km ²)	577		14,105		14,871			標準税収入額等	7,732,854	8,111,258							
世帯数(世帯)	20,913		61.5		59.9			経常経費充当一般財源等	13,025,713	13,026,203							
職員状況																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	19,409,223	18,758,587						
	市区町村長	1	7,776		一般職員	345	1,135,740	3,292	うち公的資金	16,865,840	16,179,963						
	副市区町村長	1	6,858		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	1,284,064	1,252,105						
	教育長	1	6,082		うち技能労務職員	5	15,675	3,135	収益事業収入	-	-						
	議会議長	1	4,560		教育公務員	6	20,376	3,396	土地開発基金現在高	776,234	825,938						
	議会副議長	1	3,990		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	2,230,545	2,110,459						
	議会議員	20	3,700		合計	351	1,156,116	3,294	減債基金	1,292,838	1,391,638						
						ラสบイレス指数(※6)		108.4	(100.2)	其他特定目的基金	636,464	636,464					
	一般会計等の一覧																
	項番	会計名	事業会計の一覧		項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等	組合等名	地方公社・第三セクター等	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(3)	国民健康保険特別会計	(6)	水道事業会計	(9)	簡易水道特別会計	(11)	周南地区衛生施設組合一般会計	(21)	牛島海運株式会社	○					
(2)	墓園特別会計	(4)	介護保険特別会計	(7)	病院事業会計	(10)	下水道事業特別会計	(12)	光地区消防組合一般会計	(22)	光市土地開発公社	○					
		(5)	後期高齢者医療特別会計	(8)	介護老人保健施設事業会計			(13)	周南東部環境施設組合一般会計	(23)	光市スポーツ振興会						
								(14)	光地域広域水道企業団(水道用水供給事業会計)	(24)	光市文化振興会						
								(15)	周南地区食肉センター組合一般会計	(25)	やまぐち農林振興公社						
								(16)	山口県後期高齢者医療広域連合一般会計	(26)	山口県国際交流協会						
								(17)	山口県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計								
								(18)	山口県市町総合事務組合一般会計								
								(19)	山口県市町総合事務組合自治会館管理特別会計								
								(20)	山口県市町総合事務組合非常勤職員公務災害補償特別会計								

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3：地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6：ラสบイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	8,518,737	36.7	7,968,561	64.3	普通税	7,963,068	93.5	185,112
地方譲与税	174,681	0.8	174,681	1.4	法定普通税	7,963,068	93.5	185,112
利子割交付金	29,674	0.1	29,674	0.2	市町村民税	3,736,368	43.9	185,112
配当割交付金	14,802	0.1	14,802	0.1	個人均等割	77,116	0.9	-
株式等譲渡所得割交付金	3,619	0.0	3,619	0.0	所得割	2,389,569	28.1	-
地方消費税交付金	437,158	1.9	437,158	3.5	法人均等割	131,234	1.5	-
ゴルフ場利用税交付金	6,838	0.0	6,838	0.1	法人税割	1,138,449	13.4	185,112
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,800,204	44.6	-
自動車取得税交付金	43,828	0.2	43,828	0.4	うち純固定資産税	3,781,398	44.4	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	104,304	1.2	-
地方特例交付金	91,121	0.4	91,121	0.7	市町村たばこ税	322,192	3.8	-
児童手当及び子ども手当特例交付金	39,546	0.2	39,546	0.3	釧産税	-	-	-
減収補填特例交付金	51,575	0.2	51,575	0.4	特別土地保有税	-	-	-
地方交付税	4,353,180	18.7	3,571,038	28.8	法定外普通税	-	-	-
普通交付税	3,571,038	15.4	3,571,038	28.8	目的税	555,669	6.5	-
特別交付税	782,141	3.4	-	-	法定目的税	555,669	6.5	-
震災復興特別交付税	1	0.0	-	-	入湯税	5,493	0.1	-
(一般財源計)	13,673,638	58.8	12,341,320	99.6	事業所税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	7,546	0.0	7,546	0.1	都市計画税	550,176	6.5	-
分担金・負担金	265,110	1.1	-	-	水利地益税等	-	-	-
使用料	338,038	1.5	24,993	0.2	法定外目的税	-	-	-
手数料	24,209	0.1	-	-	旧法による税	-	-	-
国庫支出金	2,409,220	10.4	-	-	合計	8,518,737	100.0	185,112
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-				
都道府県支出金	1,520,872	6.5	-	-				
財産収入	226,572	1.0	8,225	0.1				
寄附金	3,326	0.0	-	-				
繰入金	864,704	3.7	-	-				
繰越金	786,109	3.4	-	-				
諸収入	756,172	3.3	14,107	0.1				
地方債	2,367,700	10.2	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	1,456,300	6.3	-	-				
歳入合計	23,243,216	100.0	12,396,191	100.0				

区分		平成23年度		平成22年度	
徴収率	現・計	98.7	94.8	98.6	94.5
(%)	年・計	98.7	94.1	98.6	94.0
		98.6	95.2	98.5	94.8

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	3,860,466	実質収支	76,903
下水道	1,200,000	再差引収支	-31,091
病院	812,237	加入世帯数(世帯)	8,635
上水道	245,681	被保険者数(人)	14,578
介護サービス	57,613	被保険者	98
国民健康保険	331,848	1人当り	80
その他	1,213,087	保険税(料)収入額	306
		国庫支出金	80
		保険給付費	306

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	284,126	1.3	-	284,126	
総務費	3,253,329	14.8	23,670	3,042,581	
民生費	6,536,992	29.7	243,856	3,276,402	
衛生費	2,707,443	12.3	22,873	2,466,247	
労働費	58,895	0.3	-	26,232	
農林水産業費	966,405	4.4	672,227	445,731	
商工費	677,546	3.1	3,570	277,782	
土木費	2,521,826	11.5	673,334	1,894,332	
消防費	805,605	3.7	17,007	786,740	
教育費	1,996,521	9.1	428,114	1,412,620	
災害復旧費	43,495	0.2	-	24,935	
公債費	2,027,557	9.2	-	1,934,950	
諸支出費	102,024	0.5	102,024	102,024	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	21,981,764	100.0	2,186,675	15,974,702	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	9,565,747	43.5	6,621,201	6,532,834	47.2
人件費	3,698,299	16.8	3,438,217	3,352,960	24.2
うち職員給	2,260,407	10.3	2,043,684	-	-
扶助費	3,839,891	17.5	1,248,034	1,244,929	9.0
公債費	2,027,557	9.2	1,934,950	1,934,945	14.0
元利償還金	2,027,433	9.2	1,934,826	1,934,821	14.0
内 うち元金	1,717,064	7.8	1,643,229	1,643,224	11.9
訳 うち利子	310,369	1.4	291,597	291,597	2.1
一時借入金利子	124	0.0	124	124	0.0
その他の経費	10,185,847	46.3	8,706,638	6,492,879	46.9
物件費	2,508,787	11.4	2,143,971	1,576,953	11.4
維持補修費	170,295	0.8	141,722	141,722	1.0
補助費等	3,352,483	15.3	3,039,993	2,342,757	16.9
うち一部事務組合負担金	1,261,892	5.7	1,261,847	1,145,799	8.3
繰入金	2,744,935	12.5	2,514,373	2,417,461	17.5
積立金	836,286	3.8	835,248	-	-
投資・出資金・貸付金	573,061	2.6	31,331	13,986	0.1
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,230,170	10.1	646,863	-	-
うち人件費	105,723	0.5	105,723	-	-
普通建設事業費	2,186,675	9.9	621,928	-	-
うち補助	1,007,100	4.6	43,329	-	-
うち単独	1,027,242	4.7	566,855	-	-
災害復旧事業費	43,495	0.2	24,935	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	21,981,764	100.0	15,974,702	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成23年度 山口県光市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	23,280	22,017	1,262	1,182	865	19,409	
2 墓園特別会計	25	26	▲1	▲1	-	-	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成23年度

山口県光市

人口	53,615人	(H24.3.31現在)	実質赤字比率	-%
面積	91.94km ²		連結実質赤字比率	-%
歳入総額	23,243,216千円		実質公債費比率	13.3%
歳出総額	21,981,764千円		将来負担比率	74.3%
実質収支	1,180,844千円			
標準財政規模	12,760,318千円			
地方債現在高	19,409,223千円			

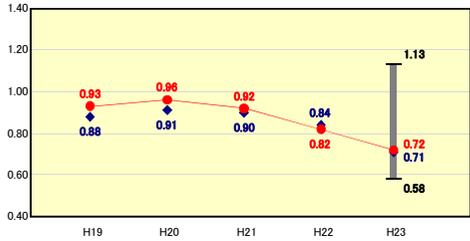


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.72]

類似団体内順位 6/20 全国平均 0.51 山口県平均 0.54

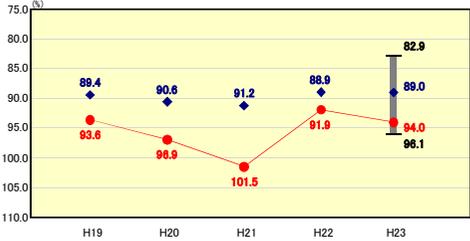


財政力指数の分析欄
 長引く不況により法人市民税などが減少したことから、前年度に比べ0.1ポイント減少したが、類似団体平均より0.01ポイント上回った。安定した財政運営のため、引き続き自主財源などの確保に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [94.0%]

類似団体内順位 19/20 全国平均 90.3 山口県平均 91.4

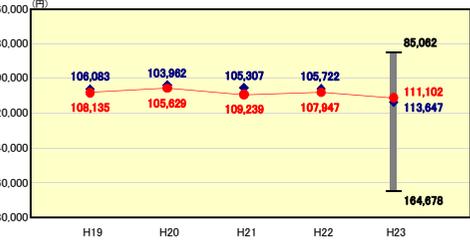


経常収支比率の分析欄
 公債費の減少などにより、経常経費充当一般財源が減少した。一方、減収補填債特例券を発行していないことから、経常一般財源歳入額が減少したことにより、前年度に比べ2.1ポイント上昇し、類似団体平均より5.0ポイント上回った。今後も公債費等の削減に取り組み、財政の硬直化の改善を図る。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [111,102円]

類似団体内順位 10/20 全国平均 119,477 山口県平均 122,271

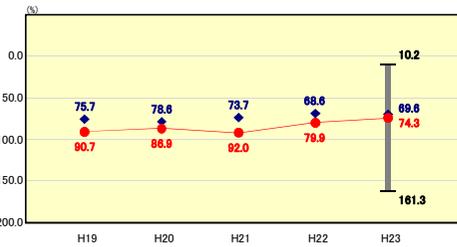


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 地方公務員共済組合等負担金や委託料の増加により、前年度に比べ3,155円増加したが、類似団体平均より2,545円下回った。引き続き、人件費の抑制や内部事務経費の削減に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [74.3%]

類似団体内順位 9/20 全国平均 69.2 山口県平均 76.1

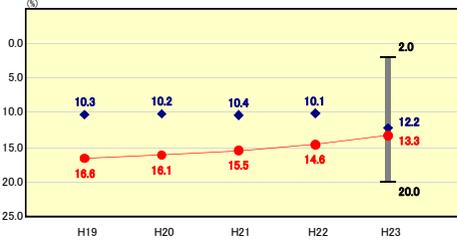


将来負担比率の分析欄
 前年度に比べ5.6ポイント改善したが、類似団体平均を4.7ポイント上回っている。臨時財政対策債や合併特例債などの発行に伴い地方債残高が増加したものの、充当可能基金や基準財政需要額算入見込額なども増加したことが主な要因としてあげられる。今後も事業費の抑制に努め、起債残高に注視し、引き続き公営企業や一部事務組合も含めた地方債残高の減少に努める。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [13.3%]

類似団体内順位 15/20 全国平均 9.9 山口県平均 11.8

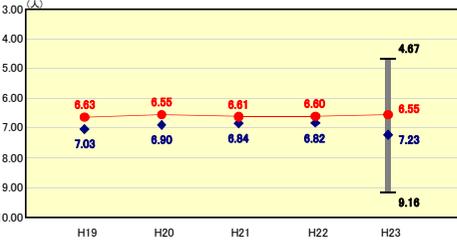


実質公債費比率の分析欄
 前年度に比べ1.3ポイント改善したが、類似団体平均を1.1ポイント上回っている。類似団体と比べて公営企業債の償還に充てられたと認められる繰出金が多額となっているが、公債費や一部事務組合等の公債費負担分は減少しており、数値は着実に改善している。引き続き、財政健全化計画に基づき、地方債発行の抑制などにより、数値の改善に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [6.55人]

類似団体内順位 3/20 全国平均 7.17 山口県平均 7.97

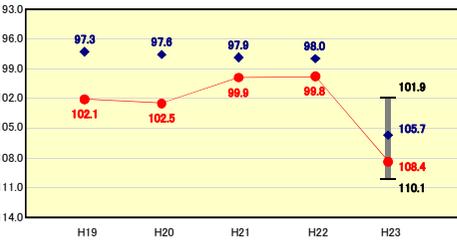


人口千人当たり職員数の分析欄
 前年度に比べ0.05ポイント減少しており、類似団体平均を0.68ポイント下回っている。前年度に引き続き退職者数に比べ、新規採用者数が少なかったためである。今後は、効率的な職員配置により、職員数の適正管理に努める。

給与水準（国との比較）

ラスパイレース指数 [108.4]

類似団体内順位 18/20 全国市平均 106.9 全国町村平均 103.3



ラスパイレース指数の分析欄
 平成22年度に職員給の2.5%カット、平成23年度は1.5%カットを実施したものの、類似団体平均を2.7ポイント上回っている。また、国家公務員の時限的な給与改定特例法による措置により、国家公務員給与が7.8%削減されたことから、前年度に比べ8.6ポイント上昇した。今後も国や県、県内市町などの動向に注視しながら、給与制度の運用や、給与水準の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

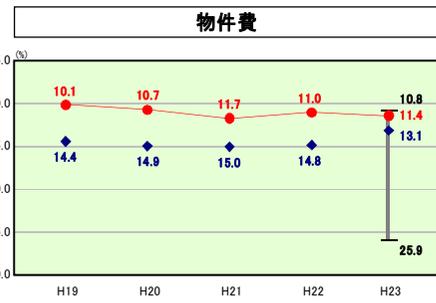
山口県光市

経常収支比率の分析

人口	53,615人(H24.3.31現在)	実収	-	赤字比率	-			
面積	91.94km ²	運結実収	-	赤字比率	-			
歳入総額	23,243,216千円	実収	13.3	公債費比率	74.3			
歳出総額	21,981,764千円	実収	74.3	負担比率				
実収	1,180,844千円	市町村	H19	II-2	H20	II-2	H21	II-2
標準財政規模	12,760,318千円	(年度毎)	H22	II-2	H23	II-2		
地方債現在高	19,409,223千円							

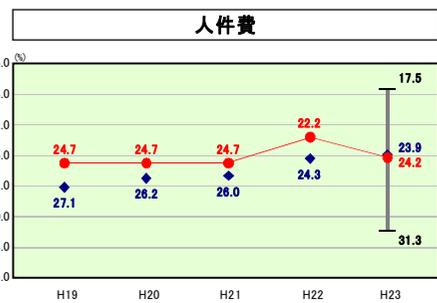
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



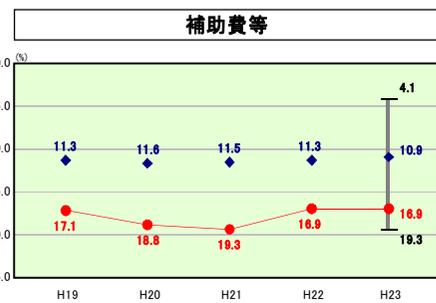
物件費の分析欄

物件費に係る経常収支比率は11.4%と前年度に比べ0.4ポイント増加したが、類似団体平均を1.7ポイント下回っている。これは、内部事務経費の削減などによる需用費や委託料の減少などによるものである。引き続き事務事業や施設管理経費などの見直しを図り、内部事務経費などの徹底した削減に努める。



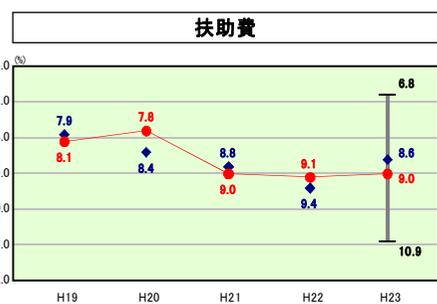
人件費の分析欄

人件費に係る経常収支比率は24.2%と前年度比べ2.0ポイント増加し、類似団体平均を0.3ポイント上回った。本市は一部事務組合や公営企業会計の人件費に対する負担金や繰出金が類似団体平均を大幅に上回っており、その結果、人口一人当たりに対する人件費及び人件費に準ずる費用は類似団体平均より12.4ポイント上回っている。今後も職員数の適正管理や各種手当の見直しなどを行い、一部事務組合や公営企業会計を含む人件費全体の適正な管理に努める。



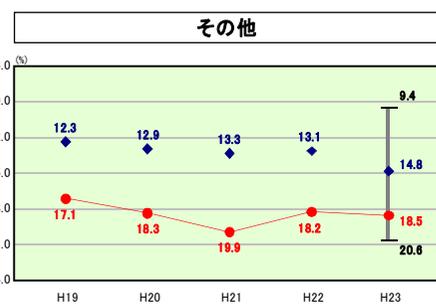
補助費等の分析欄

補助費等に係る経常収支比率は16.9%と前年度と同率であるが、類似団体平均を6.0ポイント上回っている。これは公営企業会計や一部事務組合に対する補助金・負担金が多いことやが主要要因である。今後も、公営企業会計や一部事務組合などへの繰出金や各種補助金・負担金の目的などを明確にし、見直しを進める。



扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は9.0%と前年度に比べ0.1ポイント減少したが、類似団体平均を0.4ポイント上回っている。本市では自立支援給付費や生活保護費等が増加傾向にあることから、引き続き国の計画等を踏まえ、必要な施策を展開しつつ、扶助費の適正な執行に努める。



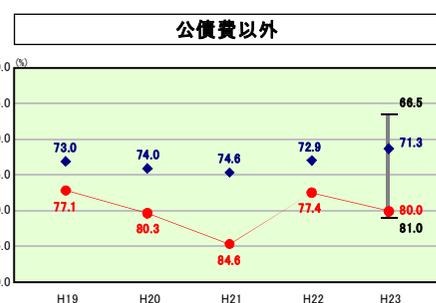
その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は18.5%と前年度に比べ0.3ポイント増加し、類似団体平均を3.7ポイント上回っている。これは、特別会計や公営企業会計への繰出金が多額であり、特に下水道事業特別会計が占める割合が高いためである。



公債費の分析欄

公債費に係る経常収支比率は14.0%と前年度に比べ0.5ポイント減少し、類似団体平均を3.7ポイント下回っている。本市は公営企業債や一部事務組合の地方債償還に係る公営企業などへの繰入金など、公営企業債の償還に充てたと認められる繰入金が類似団体を上回っているため、人口一人当たりの決算額では類似団体平均を4.1ポイント上回っているが、財政健全化計画による取組みにより、年々減少している。引き続き地方債の新規発行を伴う普通建設事業を厳選し、地方債の発行抑制に努める。



公債費以外の分析欄

公債費以外に係る経常収支比率は80.0%と前年度に比べ2.6ポイント増加し、類似団体平均を8.7ポイント上回り、類似団体内で下位から2番目である。これは、類似団体に比べ公債費割合が低いこと、また、補助費等やその他(繰出金等)の割合が高いことによる。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

山口県光市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



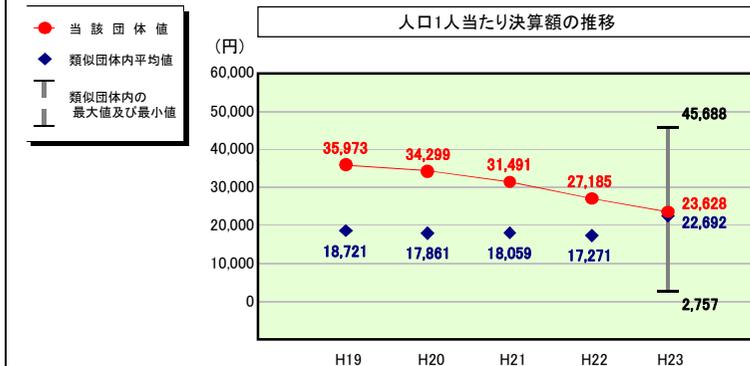
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,698,299	68,979	66,142	▲ 4.3
賃金 (物件費)	289,010	5,390	5,575	▲ 3.3
一部事務組合負担金 (補助費等)	566,052	10,558	5,587	▲ 89.0
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	209,612	3,910	1,457	▲ 168.4
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	122,038	2,276	2,381	▲ 4.4
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	105,723	1,972	1,407	▲ 40.2
▲退職金	▲ 526,348	▲ 9,817	▲ 8,449	▲ 16.2
合計	4,464,386	83,267	74,099	▲ 12.4

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	6.55	7.23	▲ 0.68
ラスパイレズ指数	108.4	105.7	▲ 2.7

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

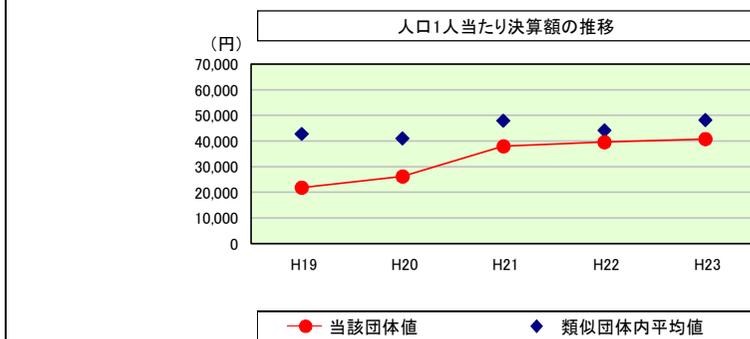


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,027,428	37,815	43,669	▲ 13.4
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	41	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	1,476,718	27,543	19,338	▲ 42.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	262,464	4,895	2,447	▲ 100.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	27,009	504	1,924	▲ 73.8
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	17	0	4	▲ 100.0
▲特定財源の額	▲ 570,320	▲ 10,637	▲ 7,442	▲ 42.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,956,523	▲ 36,492	▲ 37,291	▲ 2.1
合計	1,266,793	23,628	22,692	▲ 4.1

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

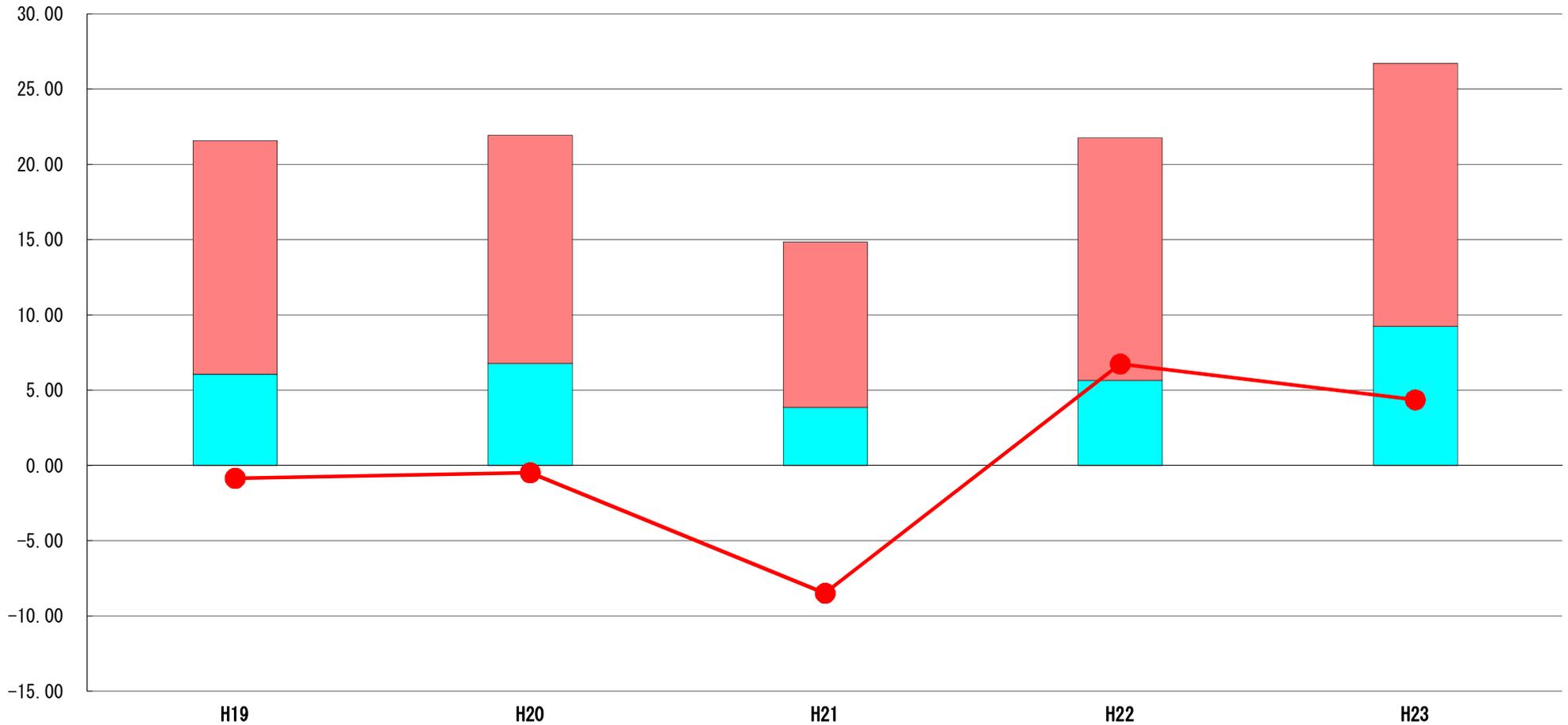
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H19	1,195,275	21,839	▲ 24.0	42,793	▲ 4.5	▲ 28.5
うち単独分	654,896	11,966	▲ 32.4	25,038	▲ 5.3	▲ 27.1
H20	1,429,379	26,213	20.0	41,052	▲ 4.1	▲ 24.1
うち単独分	859,266	15,758	31.7	25,573	▲ 2.1	▲ 29.6
H21	2,062,162	37,974	44.9	47,847	16.6	▲ 28.3
うち単独分	1,025,111	18,877	19.8	27,406	7.2	▲ 12.6
H22	2,136,300	39,590	4.3	44,162	▲ 7.7	▲ 12.0
うち単独分	933,894	17,307	▲ 8.3	24,931	▲ 9.0	▲ 0.7
H23	2,186,675	40,785	3.0	48,103	8.9	▲ 5.9
うち単独分	1,027,242	19,160	10.7	22,640	▲ 9.2	▲ 19.9
過去5年間平均	1,801,958	33,280	9.6	44,791	▲ 3.6	▲ 6.0
うち単独分	900,082	16,614	4.3	25,118	▲ 2.8	▲ 7.1

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成23年度

山口県光市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		15.48	15.15	10.98	16.10	17.48
 実質収支額		6.10	6.78	3.86	5.67	9.25
 実質単年度収支		▲ 0.84	▲ 0.47	▲ 8.47	6.75	4.37

分析欄

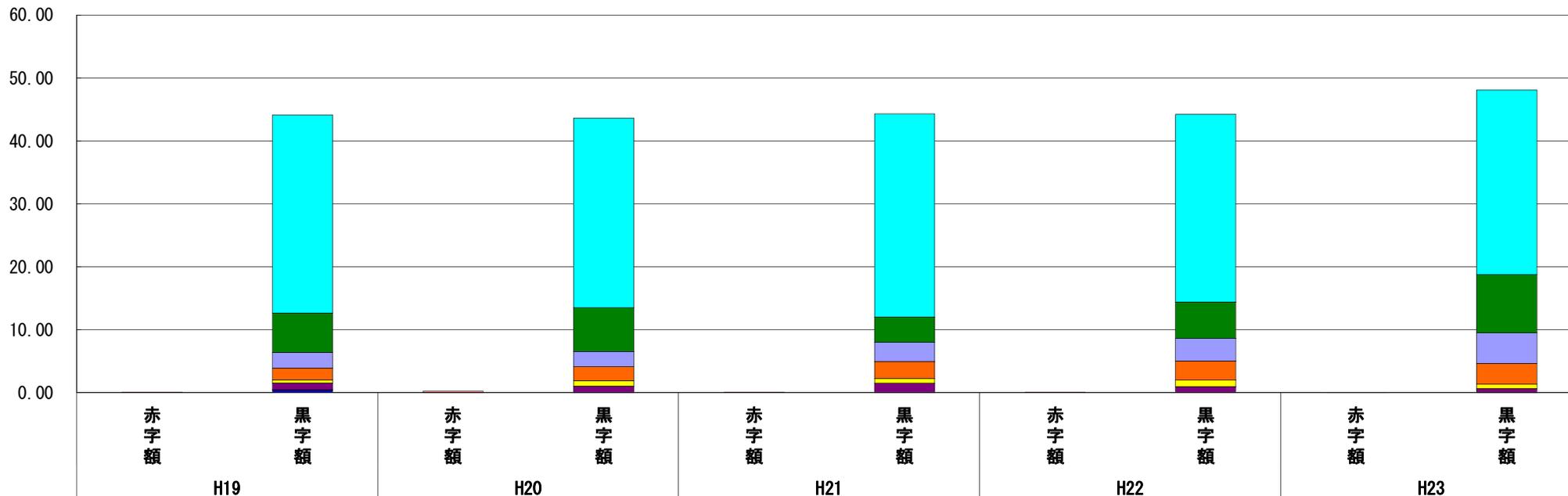
財政調整基金残高は平成21年度に不況の影響による税収の減少を補填するため大幅に減少したが、その後増加傾向にあり、平成23年度は前年度比1.38ポイント増加し、平成21年度に比べると6.5ポイント上回った。
 実質単年度収支は、平成19年度に財政調整基金の取崩し、平成20・21年度に法人市民税の大幅減などの影響により赤字で推移していたが、平成22・23年度と黒字となっている。平成23年度は、財政調整基金からの繰入額の増加により、4.37%となった。
 今後も財政健全化計画を着実に実行し、財政調整基金残高、実質収支比率などを適正な範囲で維持できるよう努める。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成23年度

山口県光市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
墓園特別会計		▲ 0.14	▲ 0.14	▲ 0.12	▲ 0.12	▲ 0.01
病院事業会計		31.52	30.12	32.28	29.86	29.36
一般会計		6.24	6.93	3.99	5.79	9.26
水道事業会計		2.50	2.48	3.06	3.56	4.82
介護老人保健施設事業会計		1.88	2.15	2.71	3.09	3.36
介護保険特別会計		0.49	0.89	0.79	0.96	0.64
国民健康保険特別会計		1.10	1.01	1.42	0.96	0.60
簡易水道特別会計		0.02	0.04	0.03	0.04	0.07
その他会計（赤字）		-	▲ 0.07	▲ 0.00	-	-
その他会計（黒字）		0.42	0.01	0.03	0.00	0.01

分析欄

平成19年度より標準財政規模比44%前後（黒字）で推移していたが、平成23年度は前年度に比べ3.97ポイント増加して48.11%となった。特に一般会計が前年度に比べ3.47ポイント増加している。これは、交付税や市税の増加などにより実質収支が増加したためである。

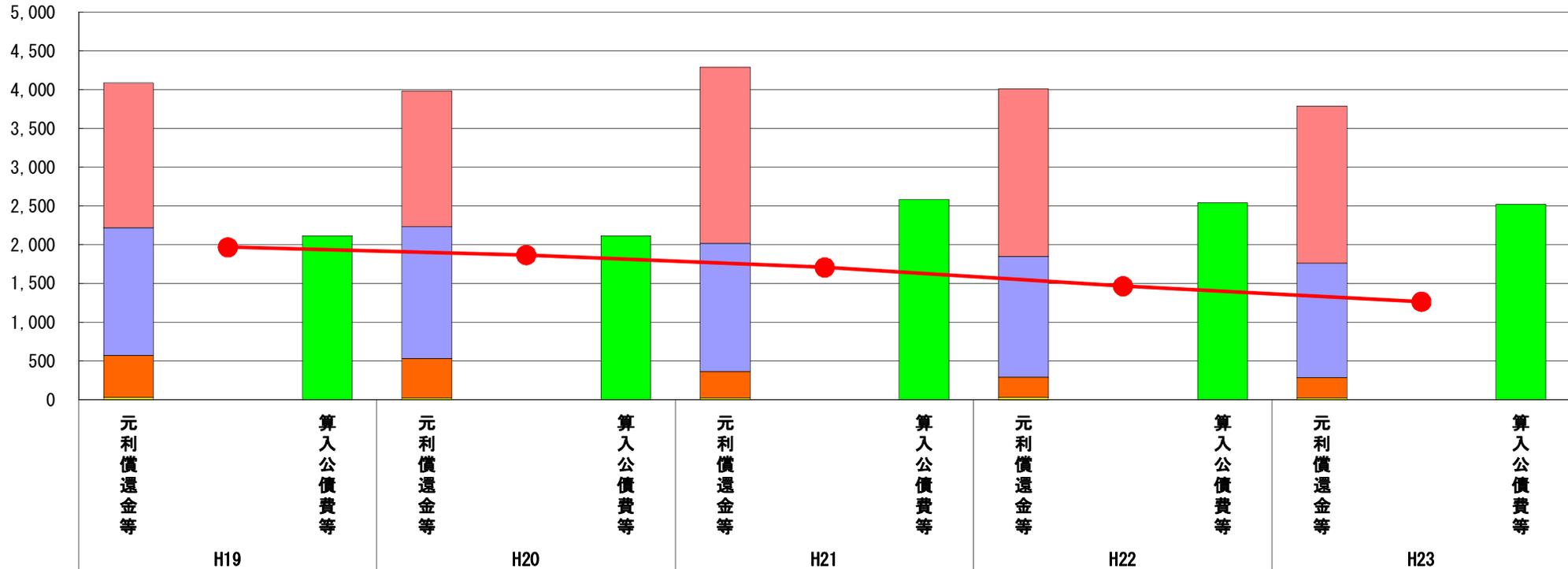
今後も、公営企業や特別会計などを含めた市全体の適正な財政運営に努める。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

山口県光市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,864	1,751	2,273	2,162	2,027
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,647	1,699	1,652	1,553	1,477
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		545	508	341	267	262
	債務負担行為に基づく支出額		30	29	28	28	27
	一時借入金の利子		-	-	-	3	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,117	2,118	2,585	2,546	2,527
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,969	1,869	1,709	1,467	1,266

分析欄

元利償還金等の額については、公営企業債の元利償還金に対する繰入金や組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等は減少傾向にある。特に組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等は平成19年度の約半分になっている。

算入公債費等については、臨時財政対策債や合併特例債の発行増により平成21年度以降2,500百万円台で推移している。

今後も起債充当事業を厳選し、さらに合併特例債などの交付税算入率の有利な起債を活用し、実質公債費比率の改善に努める。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

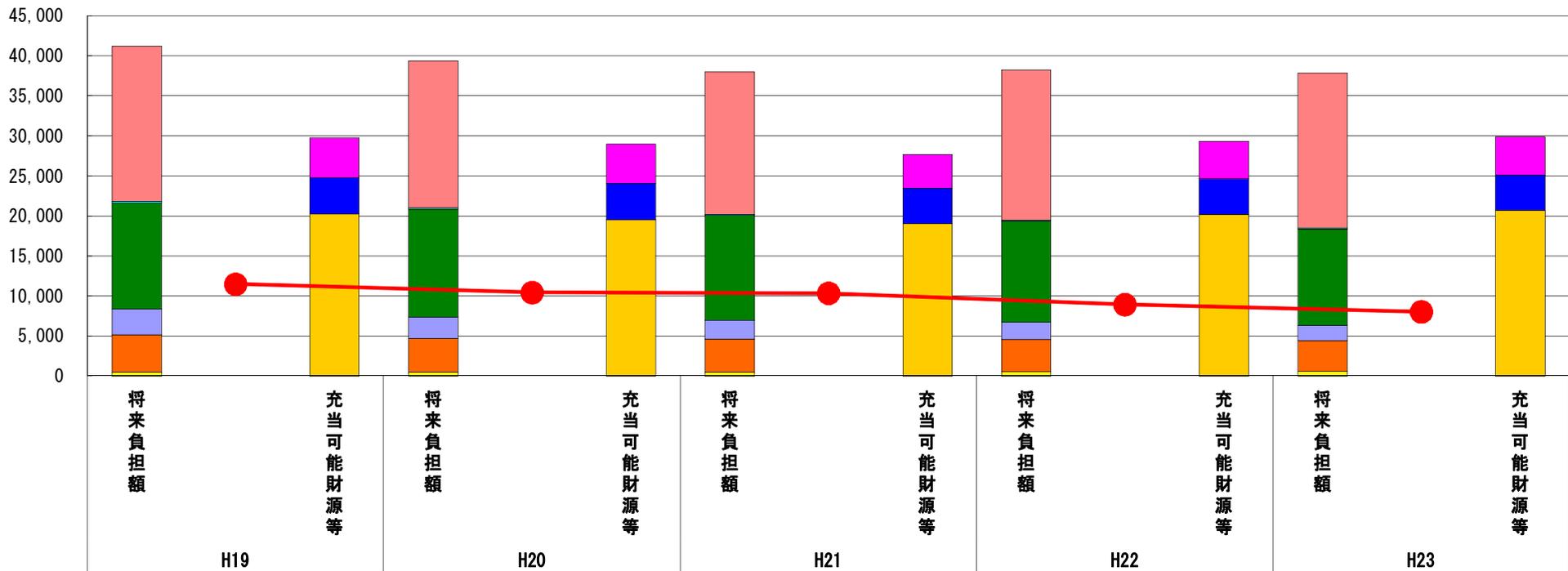
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

山口県光市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		19,400	18,372	17,821	18,759	19,409
	債務負担行為に基づく支出予定額		213	189	166	143	125
	公営企業債等繰入見込額		13,261	13,475	13,061	12,643	12,025
	組合等負担等見込額		3,179	2,692	2,352	2,141	1,922
	退職手当負担見込額		4,680	4,202	4,131	4,044	3,829
	設立法人等の負債額等負担見込額		512	492	502	543	611
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		5,004	4,878	4,160	4,702	4,755
	充当可能特定歳入		4,510	4,594	4,469	4,452	4,367
	基準財政需要額算入見込額		20,259	19,526	19,057	20,195	20,771
(A) - (B)	将来負担比率の分子		11,471	10,425	10,346	8,923	8,027

分析欄

将来負担額については、臨時財政対策債の増加に伴い一般会計等に係る地方債の現在高が増加傾向にあるものの、公営企業債等繰入見込額や組合等負担等見込額の減少により、減少傾向にある。

充当可能財源等については、都市計画税などの充当可能特定歳入が減少傾向にあるものの、充当可能基金や基準財政需要額算入見込額の増加により、全体としては増加傾向にある。

今後も起債充当事業を厳選し、さらに合併特例債などの交付税算入率の有利な起債を活用し、将来負担比率の改善に努める。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。